

Senzoku Gakuen College of Music
Senzoku Wind Symphony

洗足ウインド・シンフォニー演奏会

2021年7月10日(土)

18:00 開演 (17:30 開場)

洗足学園 前田ホール

洗足学園音楽大学・大学院

～新型コロナウイルス感染症拡大防止のお願い～

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力くださいますようお願い申し上げます。
- ・出演者とのご面会は楽屋口、ロビーを含め全面でご遠慮いただいております。尚、出演者への花束・プレゼントもお控えくださいますようお願い申し上げます。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場をお願い申し上げます。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしていただきますようお願い申し上げます。
- ・客席やロビーでのご飲食はお控えくださいますようお願い申し上げます。
- ・大声や対面での会話はお控えくださいますようお願い申し上げます。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

Program

A. リード / エル・カミーノ・レアル
Alfred Reed / El Camino Real

保科 洋 / 翔陽
Hiroshi HOSHINA / The wings of the dawn

Z. コダーイ (arr. 保科 洋) / 組曲「ハーリー・ヤノーシュ」
Zoltán Kodály (arr. Hiroshi HOSHINA) / Háy János – suite

1. 前奏曲、おとぎ話は始まる
2. ウィーンの音楽時計
3. 歌
4. 戦争とナポレオンの敗
5. 間奏曲
6. 皇帝と廷臣たちの入場

♪ 休憩 ♪

M. グールド / 狂詩曲「ジェリコ」
Morton Gould / "Jericho" Rhapsody for Symphonic Band

保科 洋 / ラメンテーション・トウ
Hiroshi HOSHINA / Lamentation To (Theme and Variations)

演奏

指揮：保科 洋

洗足ウインド・シンフォニー

A.リード / エル・カミーノ・レアル
Alfred Reed / El Camino Real

吹奏楽経験者にとってはアルメニアンダンスや春の猟犬でお馴染みの作曲家である、アルフレッド・リード(1921- 2005)は、今年、生誕100周年を迎える。今回の演奏会では、彼の作品の中でも有名な作品のひとつ、エル・カミーノ・レアルを取りあげる。

『王の道』

「エル・カミーノ・レアル(El Camino Real)」は、スペイン語で「王の道」という意味である。現在のアメリカのカリフォルニア州にこの曲と同じ「エル・カミーノ・レアル」と呼ばれる道がある。なぜ、アメリカにある道の一部がスペイン語で呼ばれているのだろうか。

それは1769年頃のスペインのアメリカ植民地開拓と深い関係にあった。当時スペイン植民地だったメキシコから、聖フランシスコ修道会の修道士達は次々にサンディエゴに入り、伝道所を建設しながら北へと進んだ。1906年には21個の伝道所が建設され、それらを結ぶ道は現在のカリフォルニア州のサンディエゴからサンフランシスコまで約1000kmになったのだ。そして、この道がエル・カミーノ・レアル「(スペイン国)王の道」であり、カリフォルニア最古の道となった。当時、アメリカに住むA.リードは、この道に着想を得てエル・カミーノ・レアルを書いたと言われている。

つまり舞台はアメリカなわけだが、実は日本の横浜市にもその歴史を感じられる物がある。20世紀に入ってエル・カミーノ・レアルはハイウェイとして整備されるようになったが、この道の歴史的価値ある遺産を失わないよう保存活動が起き、ハイウェイに沿ってミッション・ベルが建てられた。エル・カミーノ・レアルの象徴とも言えるこのミッション・ベルが横浜市の山下公園にもあるのだ。これは、横浜市とエル・カミーノ・レアルが通るサンディエゴが姉妹都市であることがあり、それを記念して山下公園にミッション・ベルの複製が建てられたのである。これを見ると、遠い他国の歴史も少し身近に感じる事が出来るだろう。

エル・カミーノ・レアル、副題は「A Latin Fantasy(ラテン幻想曲)」

道を開けろ！と言うかのように衝撃的に始まり、スペインのフラメンコのスタイルが使われた情熱的な曲調が続く。曲の半分以上を占める中間部は物憂げな表情で、オーボエとユーフォニアムの哀愁漂うソロに注目していただきたい。そして最後には、また最初の勢いが戻ってくるが、最初と比べると明るく希望に満ち自信たっぷりの印象で、まさに、スペイン国王の華やかな行列が王の道を進む様子が思い浮かぶだろう。

(学部4年 清水 涼花)



保科 洋 / 翔陽

Hiroshi HOSHINA / The wings of the dawn

この曲は2012年に作曲された。兵庫県に所在する三田学園中学校・高等学校吹奏楽部創部100周年記念演奏会のために委嘱された作品である。

作品名「翔陽」の欧文名は「THE WINGS OF THE DAWN」、直訳すると『夜明けの翼』という意味になる。その意味の通り、曲冒頭は夜明けに羽ばたく鳥達が新しい一日の始まりを告げているようだ。各所に見られる上行形の連符は翼を広げて空高く羽ばたく様子を想像できるのではないだろうか。

巧みなオーケストレーションによる立体感のある音楽と様々な楽器の音が重なり変化していく響きを愉しんでいただきたい。

(学部3年 成瀬 未涼)

Z.コダーイ(arr.保科 洋) / 組曲「ハーリー・ヤーノシュ」

Zoltán Kodály (arr. Hiroshi HOSHINA) / Háry János - suite

この曲はハンガリーの作曲家、コダーイ・ゾルターン(1882-1967)が1927年に作曲したオペラ、管弦楽曲を保科洋(1936)により吹奏楽に編曲した作品である。

タイトルの“ハーリー・ヤーノシュ”は、ハンガリーの詩人ガライ・ヤーノシュ(1812-1853)の物語”Az obsitos”(兵士の休日)に登場する、ハンガリー版「ほら吹き男爵」とも言うべき人物の事で、この物語を基につくられたオペラの管弦楽曲がこの曲だ。

6曲編成の組曲になっており、第1曲「前奏曲、おとぎ話は始まる。」、第2曲「ウィーンの音楽時計」、第3曲「歌」、第4曲「ナポレオンとの戦い」、第5曲「間奏曲」、第6曲「皇帝たちの入場」というタイトルがついている。

「ハーリー・ヤーノシュ」は、ハンガリーではとても有名なおとぎ話とされており、ハンガリーがオーストリアやフランスの支配に苦しんできた歴史の中で、ハーリーヤーノシュはオーストリアの美女を一目惚れさせたなどのホラを吹き、その苦い歴史をホラ話で笑い飛ばしてしまうようなヒーローとして愛されてきた。

長く他国の支配に苦しんだハンガリー。その民族の怒りや悲哀とともに、不当な支配に屈しない農民のたくましきやユーモアをハンガリーの民謡や舞曲で表現している。その様子をぜひ楽しんでいただきたい。

(学部3年 兼田 柊子)

Program Notes

M.グールド / 狂詩曲「ジェリコ」 *Morton Gould / "Jericho" Rhapsody for Symphonic Band*

作曲者のモートン・グールド(1913-1996)はアメリカ出身であり、作曲家としてはもちろん、ピアニストや指揮者としても活躍されていた。

この曲は『旧約聖書』の「Jerichoの戦い」を音楽化した作品となっており、1940年ワシントン空軍バンドによって初演された。

そもそも「Jericho」とは、死海の北東約8キロメートルに位置するパレスチナ地方の古都の事だ。最も古くから人々が定住した都市の一つとして知られている。我々日本人はこの曲を「ジェリコ」と発音しているが、ヨーロッパ系言語で読む場合は「イェリコ」英語で読む場合は「エリコ」と発音されるそうで国によって発音がそれぞれ異なっている。

今でこそ演奏される機会は少ないが日本では昭和の1960年から1970年代にかけて盛んに演奏されており、アメリカ吹奏楽の金字塔とも言われている。

曲の冒頭は木管群による激しい高音ユニゾンで始まり金管打楽器が強打で応える導入部が開始されるプロローグに始まり、ジャズを連想させるかのような金管群のサウンド、トランペットの狂わしいファンファーレの鳴らし合い、打楽器のロールの轟き、それぞれ8つのシーンが演奏され、そして最後は圧倒的な賛歌で曲を終える。

(学部4年 澁江ワタル)

保科洋 / ラメンテーション・トゥ *Hiroshi HOSHINA / Lamentation To (Theme and Variations)*

この曲はテーマと4つの変奏と終曲により構成される。

終曲は親友の兼田敏と交わした「死ぬまでにお互いにお互いの葬送行進曲を書く」という約束のため、葬送行進曲となった。

静寂かつ華やかさを重ね持つ序盤から、次第に哀愁を漂わせ命が尽きるかの如く終結へ向かう。

葬送を思わせる美しいメロディーに注目し、お聴き頂きたい。

(学部4年 濱出美咲)

保科 洋 *Hiroshi HOSHINA*

1960年、東京芸術大学作曲科卒、卒業作品にてその年の第29回毎日音楽コンクール作曲部門(管弦楽)で第1位を受賞する。以後、本格的に作曲活動を始めるかたわら、東京音楽大学、愛知県立芸術大学、兵庫教育大学で教鞭をとり、2001年3月に兵庫教育大学を定年退職する。

作品は管弦楽曲、オペラ、吹奏楽曲、室内楽曲、合唱曲、ミュージカルなど幅広いが、特に吹奏楽曲では日本を代表する作曲家の一人として知られ、作品のいくつかはアメリカでも課題曲に登録されるなど世界各国で演奏されている。特に2008年11月にイタリアで開催された国際ホルンコンクールにおいて本選の必須課題曲に「巫女の舞」(ホルン協奏曲)が選ばれ、世界各国のホルン奏者によって熟演された。

指揮活動も「フィルハーモニックウィンズ浜松」や「シエナ・ウインドオーケストラ」をはじめ幅広く行っているが、特に、アマチュアを対象とした指導法はそのユニークな演奏解釈理論とともに定評があり、岡山大学交響楽団の常任指揮者を50年以上もの長きに亘って続け、日本有数の大学オーケストラに育て上げるかたわら、客演指揮者としても全国各地のオーケストラや吹奏楽団体で活躍している。2017年からは、保科洋指揮法クリニックを兵庫県加東市で主催し、全国のスクールバンドや市民音楽団体指揮者にアマチュア演奏団体を指揮するための指揮法の指導を行っている。

このような長年にわたる教育・指導活動が評価されて、平成27年度秋の叙勲において「瑞宝中綬章」が授与された。また、平成28年度春には兵庫県文化功労賞を授与された。

兵庫教育大学名誉教授、浜松アクト音楽院吹奏楽部門音楽監督、フィルハーモニックウィンズ浜松音楽監督。2017年に脳出血を発症し左半身麻痺という大病を患ったが、奇跡的な復活を果たし、現在は講習会や演奏活動を再開している。



洗足ウインド・シンフォニー *Senzoku Wind Symphony*

洗足学園音楽大学では、4つの吹奏楽団体が統括責任者、指導教員の下、日々研鑽を積んでいる。2009年から体制を新たに編成し、1年生だけのフレッシュマン・ウインド・アンサンブルと、上級生バンドのグリーン・タイウインド・アンサンブル、ブルー・タイウインド・アンサンブル、そして洗足ウインド・シンフォニー(SWS)が其々の特色を活かしながら活動している。洗足ウインド・シンフォニーは池上政人教授がプロデュースしており、洗足学園音楽大学のフラッグシップ・バンドとして位置づけられ、洗足の顔として、前期・後期の演奏会、そして対外的な演奏会に出演し、常に高い評価を得ている。2015年5月には、アクトシティ浜松において「日本吹奏楽指導者クリニック」のメインゲストバンドとして演奏し(指揮:ジェリー・ジェンキン)、大いなる称賛を得た。2017年12月にはジョン・マッキー本学委嘱作品「ザ・ナイト・ガーデン」の世界初演を行い話題となる。



Senzoku Wind Symphony Member

企画運営責任者	池上 政人				
Concert master	齋藤 要助				
Flute	川野 真奈 園田 凪琉	小林 千夏 町田 花音	清水 涼花 池田 徳羽子	福井 麻菜 菊地 晃空	北山 莉来 山上 智寛
Oboe	佐藤 千尋	上原 史織 #	堀 友香 ♪		
Clarinet	加藤 明日香 木下 舞香 二階堂 希美 ♪	小泉 和世 成瀬 未涼 田村 慧太 #	齋藤 要助 今泉 真緒 石井 綾菜 #	橋本 治樹 浦川 乃阿 吉川 清香 #	磯崎 優香 平野 佳太 #
Bassoon	及川 夏海	渡邊 陽南	福原 佑紀 ♪		
Saxophone	倉元 明宏 兼田 柊子 中瀬 凱大	中崎 美羽 田中 亜耶 中原 雄太郎	船木 彩香 米田 諒士	本間 珠里 矢澤 亘	本間 美桜 鈴木 ましろ
Trumpet	清宮 衛介 高木 美雨 五月女 啓太	澁江 ワタル 冨永 倫 トルグット ハヴィン	中山 亜実 濱田 ほむら	山下 莉奈 檜山 沙南 樋口 萌々花	江原 春香 大津 泰
Horn	後藤 陸歩 石野 奈々	末永 廉 種子田 佳歩	佐藤 俊輝 直田 真潮	西川 宗辰	山口 亜希菜
Trombone	岩井 心 神野 葵	津吹 亮汰 中津 愛梨	米村 麻優 伴 芽衣菜	小森 豊生	篠塚 裕太
Euphonium	石倉 雄太	上柳 創大			
Tuba	石崎 義基 長谷川 夏帆	石田 健悟	重水 大輝	齊藤 徹也	鈴木 快門
String Bass	嶋野 晴斗	榎 さわ	遠藤 可奈子 #	平木 晶穂 #	
Harp	大隅 レオナ #				
Piano	西村 京一郎 #				
Percussion	近藤 花音 天谷 芽生 横木 秀真	濱出 美咲 江原 和紀 佐山 果凜	馬島 啓 櫻井 秀悠 芳賀 俊之	松井 菜々子 栃下 紗奈 廣木 太陽	村山 みなみ 中田 実紅 宗像 桃子
指導教員	前田 綾子 中館 壮志 中山 隆崇 小久保 まい	泉 真由 中田 小弥香 林 辰則 次田 心平	田淵 哲也 貝沼 拓実 小田桐 寛之 當仲 絵理	有馬 理絵 田中 拓也 池上 亘 目等 貴士	郡 尚恵 勝俣 泰 岩黒 綾乃 秋田 孝訓
Academic Coordinator	大島 健太郎				



洗足学園音楽大学
SENZOKU GAKUEN COLLEGE of MUSIC